

当院で実施する研究に対する情報提供のお願い

研究タイトル

動機づけ面接と行動療法を用いた小児肥満治療に対し、新型コロナウイルス感染症 2019 がもたらした中期的な影響に関する検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお1人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2018年1月から2022年12月に当院小児科の肥満外来を受診した患者さん。

2. 研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症 2019 (COVID-19) により、小児の生活習慣は増悪傾向にあり、肥満傾向児の頻度も増加しています。また、治療効果の減弱も報告されつつあります。現在の所、報告は COVID-19 流行初期の影響を検討したものが多く、中期的な影響を検討した報告は少ないです。また、実際に生活習慣への介入プログラムの有効性を論じるには、介入が忠実に行われたかの検討のために介入前、介入中、介入後の聞き取りが必要であるとされています。

この研究では、当院小児科の肥満外来に通院されている患者さんを対象として、COVID-19 が遷延する状況下の中期的な治療成績を検討します。当院小児科では多くの小児肥満症の患者さんに対して動機づけ面接と行動療法を用いた介入を、COVID-19 流行前から継続して行っています。

また、現在受診されていない患者さんに対して、肥満外来に通院している時と通院後の生活習慣の変化についてのアンケートを行わせて頂きます。郵送で依頼文書及びアンケート用紙を送付いたしますので、Web またはアンケート用紙に記入したものを返送の、いずれかの方法でご協力くださいますよう、お願いいたします。

COVID-19 流行の影響が遷延するなか、治療成績を検討することは、小児肥満症の予防にとって啓蒙的な情報になると考えます。

3. 試料・情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

受診時の年齢、性別、肥満度、通院継続率、肥満度推移、肥満に関する健康障害（糖尿病、脂肪肝、高脂血症、高尿酸血症）の頻度、生活習慣の変化、診療録の記載内容、アンケート調査結果について検討させていただきます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

和泉市立総合医療センター

小児科・部長 坂東 賢二（研究責任者）

住所：〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1

連絡先：0725-41-1331

(2025年12月18日作成 第2.1版)